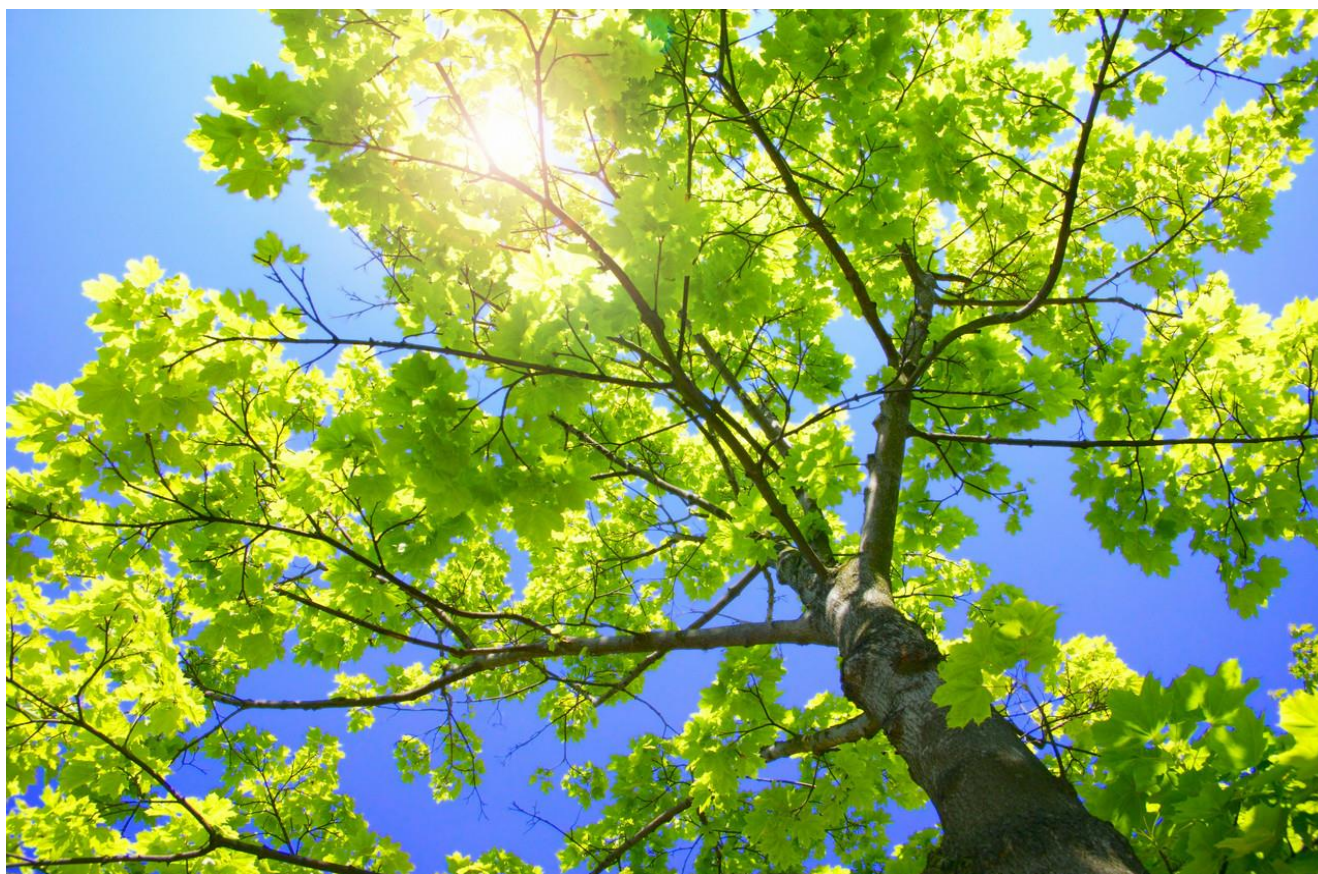


環境経営レポート

作成日：令和6年 8月1日
対象期間：令和05年 7月 ～令和06年 6月



早川建設株式会社

愛知県刈谷市井ヶ谷町中ノ嶋22番地

TEL 0566-36-5527

FAX 0566-36-0267

Email hayakawa@hayajin.co.jp

HP <http://www.hayajin.co.jp/>



目

次



1	環境経営		1
2	組織の概要		2
3	EA21 実施体制図		3
4	環境目標		4
5	環境活動計画		5
6	環境目標の実績		6
7	環境活動計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容		7
8	環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反訴訟等の有無		8
9	代表者による全体の評価と見直し		9



1. 環境経営

基本理念

当社は、地域の環境及び、住民の生活環境に配慮した施工に努め、地域環境に対する環境負荷の低減にも自主的・積極的に取り組む企業を目指します。

行動指針

環境対策経営を実践し、環境負荷の低減、環境に配慮した活動に取り組みます。

- 1 省エネルギー・リサイクル活動を推進し、二酸化炭素の排出量、廃棄物の排出量、水利用の削減に努めます。
- 2 建設工事による自然環境・住環境への影響を低減し、環境に配慮した事業展開に努めます。
- 3 事務用品や資材のグリーン購入に努めます。
- 4 環境関連の法律及びその他の環境関連要求事項を遵守し、安全安心第1の企業を目指します。
- 5 社員並びに協力会社社員に環境教育を行い、環境保全意識の高揚に努めます。
- 6 当社の環境方針を社内外に公表し、地域社会とのコミュニケーションを積極的に行い、環境保護ボランティア活動などに積極的に参加します。

社内においては、全従業員にこの環境方針及び必要事項を周知し、全社員参加による取組を目指します。

平成25年9月1日

刈谷市井ヶ谷町中ノ嶋22番地
早川建設株式会社
代表取締役

早川 輝

2. 組織の概要

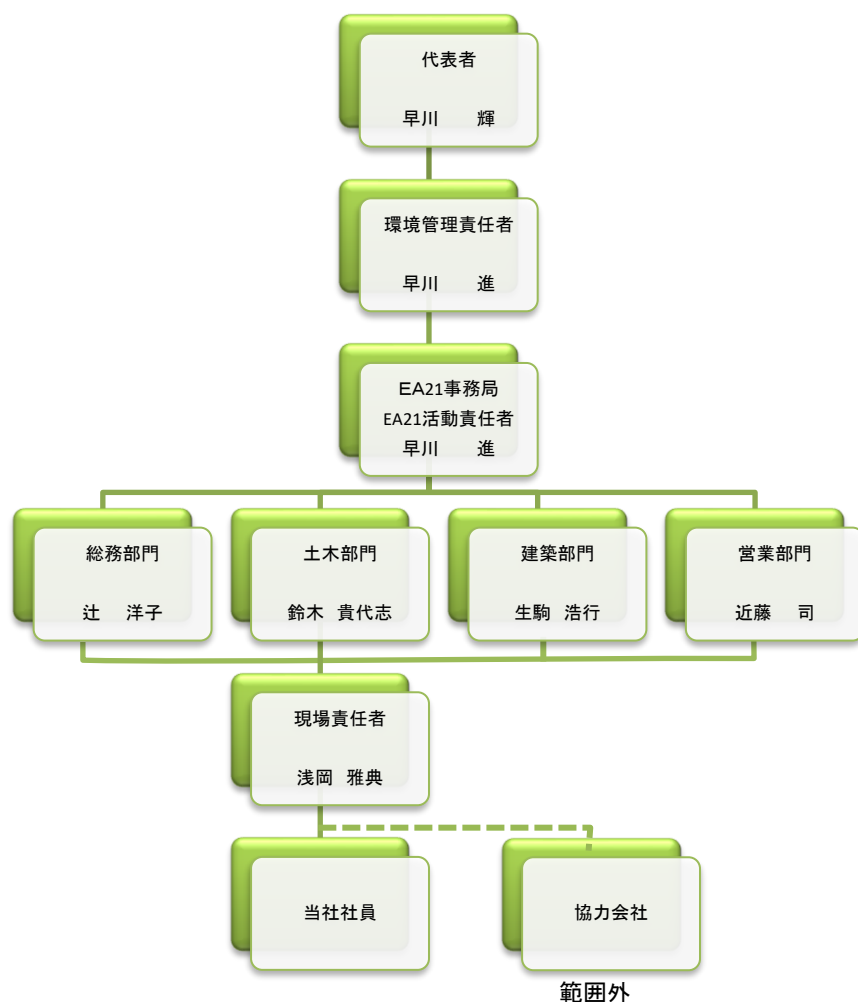
作成日 令和5年7月01日

作成者 早川 進

社名	早川建設株式会社			
所在地	本社 愛知県刈谷市井ヶ谷町中ノ嶋22番地			
	倉庫 愛知県刈谷市井ヶ谷町桜島27番地1			
	土場 愛知県刈谷市井ヶ谷町戸ヶ口22番地			
代表者	代表取締役 早川 輝			
TEL	0566-36-5527			
FAX	0566-36-0267			
E-mail	hayakawa@hayajin.co.jp			
ホームページ	http://www.hayajin.co.jp/			
環境管理責任者	早川 進(TEL 0566-36-5527)			
EA21活動責任者	早川 進(TEL 0566-36-5527)			
事業内容	総合建設業(建築・土木・不動産・建築設計業務)			
許可業種	土木工事業 建築工事業 大工工事業 とび・土工事業			
	屋根工事業 鋼構造物工事業 ほ装工事			
	しゅんせつ工事業 内装工事業 解体工事業			
	愛知県知事 許可(特-28)第5642号			
	早甚一級建築士事務所 愛知県知事登録(い)第4869号			
	宅建業許可番号 愛知県知事(5)第17792			
	産業廃棄物収集運搬業 02300137549号			
	※自社のみの廃棄物収集運搬のため、対象から除外する。			
	事業の規模・有資格者	設計	1級建築士	2名
			2級建築士	1名
建築		1級建築施工管理技士	2名	
		2級建築施工管理技士	2名	
インテリア計画 インテリアコーディネーター		1名		
住環境整備 福祉住環境コーディネーター2級		1名		
不動産取引 宅地建物取引士		2名		
土木		1級土木施工管理技士	2名	
		2級土木施工管理技士	3名	
下水計画 刈谷市排水設備工事責任技術者		2名		
売上面積		令和05年度 412百万円		
		敷地面積	241.32	m ²
		事務所床面積	315.00	m ²
		倉庫床面積	475.24	m ²
	倉庫敷地面積	1,047.93	m ²	
	土場面積	1,656.00	m ²	
従業員数	11名			
事業年度	7月～6月			
認証登録の対象範囲	早川建設株式会社 全組織 ・ 全活動			

3. EA21 実施体制図

作成日 平成25年8月21日
改訂日 平成30年8月20日
作成者 早川 進



環境管理組織における役割・責任・権限

代表者

- ・ 環境の総括責任者
- ・ 環境管理責任者を任命する。
- ・ 環境方針の作成と社員へ周知。
- ・ 全体の評価と見直し。
- ・ 実行するための資源(人・物・金)を用意。

環境管理責任者

- ・ 環境経営システムの構築・運用・維持
- ・ 外部からの苦情等の受付
- ・ 環境活動の取り組み結果を代表者へ報告

EA21事務局・EA21活動責任者

- ・ 各部門のデータのまとめ
- ・ 活動計画の立案
- ・ 環境負荷・環境への取り組みチェックの実施
- ・ 文書・記録管理

総務・土木・建築・営業 部門担当者

- ・ 環境計画の実施
- ・ 月別部門データの集計
- ・ 問題点の把握と是正の実施
- ・ 従業員教育

現場責任者

- ・ 現場においては、環境責任者の役割も果たし、必要な計画、指示、など 教育訓練を実施する。

当社社員 ・ 協力会社社員

- ・ 環境方針、環境目標を基本に定められた活動計画に従い、活動に取り組む。
- (但し、協力会社社員は認証登録の範囲外)

4. 環境目標

見直し日： 令和5年7月1日

作成者： 早川 進

環境目標は令和4年度(令和4年7月～令和5年6月)を基準年度とした環境負荷の実績を年度基準として目標を設定しました。

項目 部署区分		目標項目 (負荷の自己チェックを踏まえて)	単位	基準年度	年度目標		
				令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
二酸化炭素排出量	全社	二酸化炭素排出量の削減	kg-CO ₂	58,082	1%削減 57,501	2%削減 56,920	3%削減 56,340
	事務所	電力使用量の削減	kWh	20,123	1%削減 19,922	2%削減 19,721	3%削減 19,519
		都市ガス使用量の削減	Nm ³	98	現状維持 98		
	現場	ガソリン使用量の削減	L	11,960	1%削減 11,840	2%削減 11,721	3%削減 11,601
		軽油使用量の削減	L	7,746	1%削減 7,669	2%削減 7,591	3%削減 7,514
廃棄物排出量	事務所	一般廃棄物の削減	t	4.40	4.35	4.30	4.25
	現場	産業廃棄物の削減	t	406	1%削減 402	2%削減 398	3%削減 394
		建設副産物の資源化率向上	%	96.9%	95%以上		
総排水量	事務所	水使用量の削減	m ³	657	1%削減 650	2%削減 643	3%削減 637
グリーン購入	事務所	事務用品のグリーン購入	品目数	16件	16件	16件	16件
環境配慮工事建設	現場	環境配慮工法の推進	件数	66件	全件	全件	全件
社会貢献	会社全体	会社周辺の清掃	件/月	1	1	1	1

○購入電力の二酸化炭素排出係数は0.486kg-CO₂/kWh(平成27年度中部電力)を使用する。

○建設現場での電力使用量は把握できないため、常に節電の取り組みを行う。

○環境配慮工事の提案について・・・公共工事においては、発注者の指定する環境配慮工法を遵守し
民間工事においてはすべての建設工事に対し、環境配慮設計の施工を行う。

○化学物質の使用実績はありません。(SDSで確認済み)

5. 環境活動計画

作成日： 令和5年7月1日
作成者： 早川 進

令和05年度(令和05年7月～令和06年6月)の環境活動計画

	目標項目	取組内容	担当部署
二酸化炭素排出量	電力使用量の削減	OA機器 : 不使用時電源OFF、節電モード 節電 : 不要照明、換気扇OFF エアコン : 冬場23℃ 夏場27℃ フィルタ清掃 退社時 : 照明、エアコン、換気扇等の電源確認	事務所
	都市ガス使用量の削減	ステッカー貼付け 節ガス呼びかけ	事務所
	ガソリン使用量の削減	エコドライブの推進 アイドリングストップの徹底	現場
	軽油使用量の削減	エコドライブの推進 アイドリングストップの徹底	現場
廃棄物排出量	一般廃棄物の削減	コピー紙使用量の削減 コピー紙裏、封筒等の再利用推進 分別の徹底	事務所
	産業廃棄物の削減	分別の徹底 資源化促進	現場
水使用量の削減		節水ラベル等の意識向上 漏水点検の実施	事務所
事務用品のグリーン購入		購入品目の確認及び検討	事務所
環境配慮工法の推進		公共工事 : 発注者の指定する環境配慮工法を遵守 工事に伴う騒音・振動・仮囲い・散水・悪臭・粉塵・排ガスのより一層の低減に努める 民間工事 : 全ての建設工事に対し、省エネに繋がる部材・設計の提案 (太陽光発電、エコキュート、LED照明器具、オール電化、ガス省エネ住宅)	全件
会社周辺の清掃		会社周辺・現場の清掃活動 清掃ボランティア活動	現場

6. 環境目標の実績

作成日： 令和6年7月25日

作成者： 早川 進

実施期間12か月（令和05年7月～令和06年6月）

項目 部署区分		目標項目 (負荷の自己チェックを踏まえて)	単位	基準年度 令和04年度	目標 令和05年度	実績 令和05年度	増減 %	結果 ○×
二酸化炭素排出量	全社	二酸化炭素排出量の削減	kg-CO2	58,082	1%削減 57,501	56,439	-1.8%	○
	事務所	電力使用量の削減	kWh	20,123	1%削減 19,922	20,009	0.4%	×
		都市ガス使用量の削減	Nm3	98	98	96	-2.0%	○
	現場	ガソリン使用量の削減	L	11,960	1%削減 11,840	11,468	-3.1%	○
		軽油使用量の削減	L	7,746	1%削減 7,669	7,714	0.6%	×
廃棄物排出量	事務所	一般廃棄物の削減	t	4.4	4.35	3.2	-26.4%	×
	現場	産業廃棄物の削減	t	406	402	395.77	-1.5%	○
		建設副産物の資源化率向上	%	96.9%	95%以上	97.2%	—	○
総排水量	事務所	水使用量の削減	m ³	657	1%削減 650	655	0.8%	×
グリーン購入	事務所	事務用品のグリーン購入	品目数	16件	16件	16件		○
環境配慮建設工事	現場	環境配慮工法の推進	件数	全件 150件	全件	97件 全件		○
社会貢献	会社全体	会社周辺の清掃	件/月	1	1	1		○

結果：達成度 ○:2.5%以上 △:2.5%未満 ×:増加

○購入電力の二酸化炭素排出係数は0.452kg-CO2/kWh(平成27年度中部電力)を使用する。

7. 環境活動計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

作成日： 令和6年7月25日

作成者： 早川 進

電力使用量の削減	評価：目標数値には達成出来なかったが(目標の0.4%増)、取組内容は行えており、結果として効果を得ている。 今後の取組：引き続き継続実施していく。
都市ガス使用量の削減	評価：都市ガス使用器機の使用頻度を抑えるよう心掛けたため、削減につながった。 今後の取組：今後も、取組内容の遵守を徹底していく。
ガソリン使用量の削減	評価：エコドライブ等の取組は確実に実施されている。 今後の取組：今後も、取組内容の遵守を徹底していく。
軽油使用量の削減	評価：安全パトロール時にアイドリングストップ、エコドライブ指示等、取組内容の遵守は徹底しているが、目標達成には到達しなかった(目標の0.6%増)。 今後の取組：達成出来なかったが、引き続き取組内容の遵守を徹底していく。
一般廃棄物の削減	評価：事務部門でコピー用紙の裏面使用は、以前より徹底されており、尚且つ情報発信媒体をPCで行う様に心掛けたが、目標達成に達しなかった(目標の1.6%増)。 今後の取組：取組内容は遵守しているので、このまま持続していく。
産業廃棄物の削減	評価：取組内容は実施しており、削減につながった。 今後の取組：今後も、取組内容の遵守を徹底していく。
水使用量の削減	評価：節水ステッカー、使用量の確認をしているが、目標達成には到達できなかった(目標の0.8%増)。 今後の取組：このまま取組を持続できるようにしていく。
事務用品のグリーン購入	評価：グリーン購入法適用商品の購入に努めています。 今後の取組：このまま取組を持続できるようにしていく。
環境配慮工法の推進	評価：発注者からの指定された環境配慮工事実施し、周辺住民の理解と工事への了承を得ることができました。 今後の取組：各現場に応じて、最良の方法を模索していく。
会社周辺の清掃	評価：会社周辺のゴミ拾いを月に1度、その他に草刈を実施しています。 今後の取組：このまま取組を持続できるようにしていく。

8.環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反訴訟等の有無

※詳細については、別紙の「環境関連法規の取りまとめ・遵守状況チェックリスト」を参照

作成日： 令和6年7月25日

作成者： 近藤 司

適用法令等	遵守項目	評価
廃棄物処理法	廃棄物分別手順と保管場所の掲示 委託契約書 マニフェスト管理と5年間保存 管理票交付状況の県知事への年度報告 処分先の現地確認 自社運搬時は産廃許可番号等の表示	○
騒音規制法	特定建設作業実施届の届出 規制基準の遵守	○
振動規制法	特定建設作業実施届の届出 規制基準の遵守	○
消防法	取扱、点検及び届出	○
建設リサイクル法	対象建設工事の分別計画等の届出 再資源化等実施	○
フロン排出抑制法	フロン回収登録業者への委託 特定製品の修理、廃棄時の適正回収・破壊措置義務 使用機材の簡易点検(四半期に一度)	○
愛知県民の生活環境保全条例	アイドリングストップ表示の掲示 従業者へのアイドリングストップ等教育指導	○
家電リサイクル法	冷蔵庫、テレビ、エアコンのリサイクル券 使用済特定家電の引取業者への適正な引渡し	○
自動車リサイクル法	社用車のリサイクル券 使用済自動車の引取業者への適正な引渡し	○

違反・訴訟等	当社に適用される環境関連法規等の遵守状況を確認・評価の結果、環境関連法規への違反はありません。尚、関係当局よりの違反等の指摘、訴訟は過去3年間ありません。
--------	---

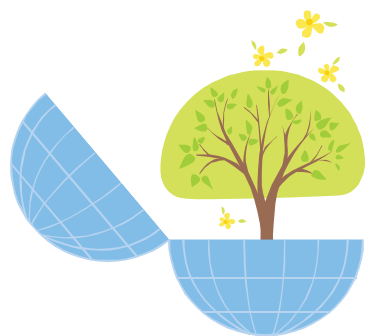
次年度以降の目標、取組、環境経営システムをどのように変更すべきか検討し、問題点を明確にする

変更の必要性判断項目	変更の判断	コメント
1. 環境方針の変更	☐ 有・ ☒ 無	
2. 環境目標の変更	☐ 有・ ☒ 無	
3. 環境活動計画の変更	☐ 有・ ☒ 無	
4. 環境経営システムの変更	☐ 有・ ☒ 無	実施体制も変更不要
5. その他変更の必要な項目等	☐ 有・ ☒ 無	

★変更の場合は必要な具体的指示事項

そ の 他 環境関連法規側は遵守されていましたが、法改正等はいくつもおこなわれるので、常に情報収集をおこない、的確に関係者につたえていきたい。

全 体 電力使用量及び軽油使用量が目標未達(運搬等仕事量の影響と推察)でしたが、ガソリン使用量の削減が寄与して、二酸化炭素排出量の削減が目標達成の結果となりました。今後の取組に関して、全体的にはそのまま継続していき、来年・再来年時の状況に応じて基準目標を設定していきたいと考えます。



令和6年7月25日

早川建設株式会社
代表取締役 早川 輝